

葉山らしい住環境とは？

景観を形成する建築について、専門家との連携について、3つの地域で活動している団体からの事例紹介と意見交換会。閉会后、葉山の洋館旧東伏見宮別邸をご案内します。

パネリスト

● NPO 法人 葉山環境文化デザイン集団

葉山における歴史的建造物並びに歴史的景観を次世代に継承するための町民によるまちづくりに貢献することを目的とした集団。

● NPO 法人 逗子の文化をつなぎ広め深める会

市民の多様な活動、交流と連携の中から、逗子らしい文化が育ち、逗子のまちがもっと元気になることを、そして遺伝子として次世代へつながっていくことを、私たちは目指している。

● 一般社団法人ひと、まち、鎌倉ネットワーク

鎌倉を愛する建築家とその他専門家による集団が、まちなみを大切にしてい住み続けて行きたいと考える市民と一緒に、美しい豊かな鎌倉の住環境を次世代につなげていくことを目指している。

主催 葉山のvisionを考えよう実行委員会

共催 トランジション葉山

NPO法人葉山環境文化デザイン集団

NPO法人環境ファミリー葉山

協賛 NPO法人葉山環境文化デザイン集団

NPO法人環境ファミリー葉山

葉山新聞社

後援 NPO法人葉山まちづくり協会

葉山町



会場／旧東伏見宮別邸

葉山の Vision を考えよう

第2回 住まいと町並みについて

12月14日(日) 10時～12時

会場：旧東伏見宮別邸（あけの星幼稚園奥）

※お子さま連れでどうぞ。時間厳守でお願いします。

参加費
無料

予約
不要

循環型地域社会を目指して

あなたの町の将来像を考える
きっかけづくり。

葉山らしさについて
専門家を招いて考えます。



●○ 葉山町は10年後に町制100周年を迎えます ○●

今年策定された第四次まちづくり総合計画は来年から実施されます。

この節目に持続可能なまちづくりについて考えてみませんか？

この地に生れついた人も、移り住んだ人も、豊かな自然の中で暮らしています。

環境、文化、歴史も多様で独特な葉山。その葉山らしさを失うことなく

世代を超えて暮らしていけるよう、町民一人ひとりが繋がるのが大切です。

その「繋がる」きっかけ作りを提案します。

●○ 地域で仕事と経済を廻す ○●

持続可能な自立した町になるためには、この取り組みが不可欠です。

2050年には全国の6割の地域で人口が1/2になると試算される中でも、

葉山町は人口3万人規模のコンパクトな地域社会の継続をめざしましょう。

地域資源が循環するための仕組みを考え、9つの課題を挙げました。

これらについて、数回にわたり実際に活動している人の話を聞き、

山梨町長を交えて、世代を超えて意見交換する場を設けます。

課題 1

自然環境

山、川、海の保全と活用

- ◆森もり倶楽部の試み
- ◆よしのぼりの会の活動
- ◆オーシャンファミリーの取り組み



課題 2

食(地産地消)

生産と消費の循環

- ◆夏みかんプロジェクト
- ◆真名瀬の朝市
- ◆葉山野菜の会



課題 4

交通

- (1) 歩道整備と交通の優先順位の
見直しと意識改革
- (2) 交通手段と近隣地区との
ネットワークの見直し

課題 6

教育と文化

自然、歴史、地元著名人、
職人から学ぶ機会を

※第3回目は課題6の
「教育と文化」について
7月頃に開催予定。



課題 8

金融

市民バンクの創設、
地域通貨の顕在化

課題 3

住まいと町並み

葉山らしい住環境と景観を形成する
建築専門家との連携

- ◆NPO 法人葉山環境文化デザイン集団
- ◆NPO 法人逗子の文化をつなぎ広め深める会
- ◆一般社団法人ひと、まち、鎌倉ネットワーク



課題 5

福祉(ケアと健康)

- (1) 健康推進。自助、共助、公助
- (2) 近隣地区の総合病院との連携

課題 7

エネルギー

再生可能な自立型
エネルギーの研究

課題 9

行政(町内会)の
あり方

町民の立場に立つ行政



※住みつづけたい町

住んでみたいと思える町って

どんな町でしょう？

一緒に考えてみませんか？

そこに葉山らしさが見えてくるといいですね。